

## 令和7年度 学校経営の改革方針

作成年月日 令和7年4月1日

学校名 鈴鹿市立神戸中学校 校長名 市川 善浩

記述項目	記述内容
1 めざす 学校像	<p><b>1 学校教育目標</b> 仲間とともに 心豊かに 生きる生徒の育成</p> <p><b>2 めざす学校像</b> 明日も行きたい・明日も通わせたい・明日も協力したい学校</p> <p><b>3 めざす生徒像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな学力を身につける生徒</li> <li>・自他を大切に、互いの良さに目を向け、違いを認め合う生徒</li> <li>・互いに支え合い、仲間と豊かにつながり合う生徒</li> </ul> <p><b>4 めざす教師像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもに寄り添い、こどもとともに生きる教師</li> <li>・常に学ぶ姿勢を持ち、よりよい改善に向け好悪どうする教師</li> <li>・保護者や地域とつながり、ともに課題を解決しようとする教師</li> </ul>
2 経営方針	<p>1 「学 び」: “発見・驚き・気づき”のある課題設定 “参加・交流・居場所”のある授業づくり</p> <p>2 「人 権」: お互いの良さに目を向け、違いを認め合う心</p> <p>3 「つながり」: お互いに支え合い、繋がり合う集団</p>
3 達成方策	<p><u>1 「学力向上×ICT活用」での重点取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業力UP5☆ver.2」に基づいた授業改善を推進する</li> <li>・全国学力・学習状況調査やみえスタディチェックの結果の分析から、全教科で言語能力の育成を図るための授業づくりに取り組む</li> <li>・学び合い、つながり合うための効果的なICT機器の活用に取り組む</li> <li>・習熟度別学習を実施（2年生数学科）</li> </ul> <p><u>2 「長期欠席対策」での重点取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる学級づくり [エンカウンター・ラニング・タイムの実施]</li> <li>・校内組織の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>■学年、ホト教室、通級指導教室、保健室、SC(スクールカウンセラ-)との連携を図り適切な生徒理解に努める</li> </ul> </li> <li>・関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>■鈴鹿市適応指導教室、こども家庭支援課、医療機関、フリースクールとの連携を図り、適切かつ必要な支援を行う</li> </ul> </li> <li>・人権、特別支援教育にかかわる校内研修の定期的実施、および校外での研修への積極的な参加</li> </ul> <p><u>3 「非認知能力」での重点取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンカウンター・ラニング・タイムに取り組む</li> <li>・中学校区で連携した取り組みを進める</li> <li>・多様な考えを交流したり、つながりを意識した場面のある授業や学校行事を創っていく</li> <li>・家庭、地域と連携した非認知能力の育成に努める (家庭や地域で取り組めるものなどについて情報発信を行う)</li> </ul> <p><u>4 「地域連携」での重点取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を通じて学校理解を進める (学校通信、ホームページ等の充実)</li> <li>・近隣校との連携 (小学校、高等学校)</li> <li>・まちづくり協議会との連携</li> <li>・体育祭、文化祭の参観</li> <li>・学校運営協議会委員による授業の参観</li> </ul> <p><u>5 「働き方改革」の視点での重点取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとの時間外労働時間の可視化</li> <li>・月45時間、年間360時間を超える人数、0人を目指す</li> <li>・時間外労働時間の一人平均30時間以下を目指す</li> <li>・60分以内に終了する会議の割合、90%以上を目指す</li> <li>・ICT機器を有効に活用し効率的な校務を進める</li> </ul>